

一 風は いたずらもの

だれにも 見えない 手で
ぼうしを ひよいと さらって
わらいながら にげていく

二 風は うたうたい

木々の 葉を かき鳴らし
草原を さあっと わたって
みどりの 歌を とどける

三 風は 旅びと

山を こえ 海を こえ
まだ 見ぬ 遠い 国の
においを はこんで くる

四 すがたは 見えなくても

ほおに ふれる その手で
風は たしかに 言っている
「さあ いこう」と せなかを おす



School Stock 『風』 十一

(1) 第一連で、風は「いたずらもの」とえがかれています。これは、風のどんな様子を、人にたとえた表現ですか。書きましょう。

(2) この詩では、各連のはじめで、「風は〜」という同じ形の表現がくり返されています。このくり返しには、どんな効果があると考えますか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア 風のこわさを、強調している

イ 風のいろいろな表情を、次々にえがき、リズムを生んでいる

ウ 風がふいていないことを、表している

エ 読む人を、悲しい気持ちにさせている

(3) 第三連で、風は「旅びと」にたとえられています。旅びとのような風は、何をはこんでくると書かれていますか。詩の言葉を使って書きましょう。

(4) この詩で、風を人のようにえがく表現（擬人法）が使われている部分を、詩の中から一つ書きぬきましょう。

(5) 第四連の「『さあ いこう』とせなかをおす」から、作者は、風にどんな思いを重ねていると考えますか。あなたの考えを書きましょう。

例えば

「新しい一歩をふみ出すわたしを、風がおうえんしてくれている、という思い。」

「前へ進むゆきを、風がそっとあたえてくれる、という気持ち。」

一 風^{かぜ}は いたずらもの

だれにも 見^みえない 手^てで
ぼうしを ひよいと さらって
わらいながら にげていく

二 風^{かぜ}は うたうたい

木^き々の 葉^はを かき鳴^ならし
草原^{そうげん}を さあっと わたって
みどりの 歌^{うた}を とどける

三 風^{かぜ}は 旅^{たび}びと

山^{やま}を こえ 海^{うみ}を こえ
まだ 見^みぬ 遠^{とお}い 国^{くに}の
においを はこんで くる

四 すがたは 見^みえなくても

ほおに ふれる その手^てで
風^{かぜ}は たしかに 言^いっている
「さあ いこう」と せなかを おす



School Stock 『風』 十一

(1) 第一連で、風は「いたずらもの」とえがかれています。これは、風のどんな様子を、人にたとえた表現ですか。書きましょう。

(例) 風が、ぼうしをふき飛ばして通りすぎていく様子を、いたずらをして笑って逃げる人のようにえがいている。

(2) この詩では、各連のはじめで、「風は〜」という同じ形の表現がくり返されています。このくり返しには、どんな効果があると考えますか。最も適切なものを一つ選びましょう。

ア 風のこわさを、強調している

イ 風のいろいろな表情を、次々にえがき、リズムを生んでいる

ウ 風がふいていないことを、表している
エ 読む人を、悲しい気持ちにさせている

(3) 第三連で、風は「旅びと」にたとえられています。旅びとのような風は、何をはこんでくると書かれていますか。詩の言葉を使って書きましょう。

(例) まだ見たことのない、遠い国のおい。

(4) この詩で、風を人のようにえがく表現(擬人法)が使われている部分を、詩の中から一つ書きぬきましょう。

(例) 「わらいながらにげていく」／「歌をとどける」／「言っている」／「せなかをおす」のうち一つ

(5) 第四連の「さあ いこう」とせなかをおすから、作者は、風にどんな思いを重ねていると考えますか。あなたの考えを書きましょう。

(例) 新しいことに、前向きに進んでいこうとする自分を、風がやさしくおうえんしてくれている、という思い。

例えば

「新しい一歩をふみ出すわたしを、風がおうえんしてくれている、という思い。」

「前へ進むゆきを、風がそっとあたえてくれる、という気持ち。」

問1 （例）風が、ぼうしをふき飛ばして通りすぎていく様子を、いたずらをして笑って逃げる人のようにえがいている。

「見えない手で」「さらって」「わらいながら にげていく」から、風を、いたずらな人のようにえがいた擬人法だと分かります。

問2 イ

「いたずらもの」「うたうたい」「旅びと」と、風のいろいろな表情を次々に見せることで、心地よいリズムが生まれています。

問3 （例）まだ見たことのない、遠い国のおい。

第三連に「まだ 見ぬ 遠い 国の／においをはこんでくる」とあります。

問4 （例）「わらいながら にげていく」／「歌をとどける」／「言っている」／「せなかをおす」のうち一つ

人の動作や気持ちを表す言葉が、風に使われている部分をさがします。

問5 （例）新しいことに、前向きに進んでいこうとする自分を、風がやさしくおうえんしてくれている、という思い。

「せなかをおす」を、はげまし・おうえんの意味に重ねて考えられると、よい読みになります。